

企業年金改悪

同意徴収には応じない!!

会社側、低投票率を隠す

NTTグループの規約型企業年金の三者協議会代表委員選挙が先ごろ行われ、結果の公示が先日行われました。結果は、全国で給付減額に反対して反対運動をしている人々が推す(当労組も推せん)岩崎さん(受給者)、山田さん(加入者)が予想を超える票数を獲得し、健闘しました。結果は以下のとおりです。

会社によるこの選挙結果の公示をみると、選挙の投票用紙の配布枚数が書かれてありません。ふつう、選挙結果を公示する場合は、有権者がどのくらいいるかを明らかにするものですが、当労組がNTT西日本会社に質問しても、「公示のとおりです」との回答で、会社は有権者数(投票用紙配布枚数)をとうとう明らかにしませんでした。

投票用紙配布枚数が分かると、投票率が明らかになります。当労組の組合員が課長に質問すると、約56%(受給者)約70%(加入者)であることを知らせてくれました。なぜ会社は堂々と投票率が明らかになるよう、投票用紙配布枚数を公示しなかったのでしょうか。

56%というと、仮に今回投票したひとが全員、給付減額に同意したとしても企業年金の給付減額の認可に必要な67%にはるか及びません。当労組の調査によると、受給者数は13万8000人で、9万2400人の同意が必要です。給付減額に反対する岩崎さん以外の人全員同意したとすると、6万7919人です。あと2万4481人の「票」の上積みが必要です。

どうやら会社は、あまりにも低投票率だったので公示しなかった(できなかった)のではないかと思います。

8月下旬発議、9月同意徴収開始というスケジ

ュールが予想され、会社は管理者を動員し、「減額に賛成(同意)してくれないと企業年金がつぶれる」と受給者に脅しをかけながら、遮二無二同意徴収を推し進めるものと思われます。

会社は3月決算で6436億円もの純利益をたたきだし、7690億円もの負債を返済しました。このことを知っている人は「企業年金がつぶれる」とはだれも信じないでしょう。状況を知らない受給者、とくにOB等に脅かしをかけてくるものと思われます。

当労組は、老後の生活の安定を脅かす給付減額を許さず、同意徴収には応じない呼びかけを、「反対する会」等の仲間とともに闘っています。

三者協議会代表委員選挙結果

(投票率は管理者情報)

【受給者】

投票総数	79,706	有効票数	78,770
無効票数	936	投票率	約56%

岩崎 俊 10,851

当選 塩谷 豊 15,289

当選 徳永英樹 13,752

当選 豊島俊行 13,566

当選 上原 斌 12,951

当選 村田 実 12,361

【加入者】

投票総数	85,522	有効票数	82,865
無効票数	2,657	投票率	約70%

山田 忍 4,107

当選 柴田謙司 18,226

当選 安永貴夫 17,117

当選 山城正一 15,740

当選 高橋正士 14,973

当選 鶴田 潤 12,707

N関労初の組合員村長誕生

16年ぶりの選挙で、新人同士の闘いとなった千葉県・長生村長選挙は、合併反対・住民投票を訴えた石井俊雄さん（N関労千葉支部組合員）が推進派を大差で破って当選しました。



喜びの石井俊雄さん

千葉県茂原市など長生郡市（1市5町1村、合併後市域327平方キロ、人口16万3千人）は来春の合併を期して合併協議を行っています。

しかし、4月の茂原市長選挙では合併に批判的な新人が現職に千票差まで迫り、5月の一宮町長選挙では茂原市をはずすなど合併の枠組み変更を訴えた新人が現職に1票差で惜敗。このように茂原市の膨大な借金等をめぐって住民は必ずしも合併賛成とは言い切れない結果が出ていました。

長生村でも合併推進14名、慎重反対4名の議会構成の中で、今回当選した石井俊雄さんらは新潟県加茂市の小池清彦市長らを呼んで合併に批判的な立場からその是非を検討し、住民投票の署名運動をしていました。

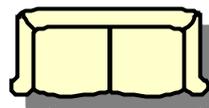
他方、現職が引退する選挙が迫る中で、立候補表明は「合併は住民の代表で決めればよい」と、その推進を訴える前村議会議長のみ。対立候補の動きもあったがその芽はつぶされ、長年続く無競争の土俵が作られていました。

村長選挙こそ合併の是非を問う場であり、何とか候補擁立をとの動きの中で、最終的に石井俊雄さんにお鉢が回ったのは5月末。その時石井俊雄さんは村議に初当選してわずか2年と1ヶ月。しかし、合併問題に住民の声を反映させたいと無所属での立候補を決意。記者会見をしたのは告示1週間前の8日でした。

無競争とたかをくくっていた相手候補を尻目に、

出陣式こそ500人対100人と圧倒されたものの、毎日30ヶ所以上の街頭演説や電話戦術等で、合併問題や村の名前にふさわしい福祉の村づくりを訴えた結果、尻上がりに評判が高まりました。村議当選以来毎月議会報告を配布してきた誠実さも買われ、対立候補に900票差をつけて当選することができました。

当選した石井俊雄さんはさっそく住民投票をはじめとする公約を実現すると、決意を新たにしています。



神戸中央ビル

休養室やっとできる

昨年6月、当労組が要求し、会社側が設置を約束していた、神戸中央ビルの休養室がこのほどやっと完成しました。

この休養室は「事務所衛生基準規則第21条」で50人以上の従業員または30人以上の女子従業員を雇用している事業所に設置が義務付けられているもので、神戸中央ビルではそれまで休養室のない違法状態が放置されていました。

今回設置された休養室は男女1台ずつのベッドという、「設置しています」という会社の厚生労働省に対するアリバイ証明みたいな休養室ですが、少数組合の要求を会社側が呑んだ、法律上呑まざるを得なかった画期的なことと思われます。

今後、多くの人々が利用していく中で、休養室の拡大・拡充を会社側に要求していく必要があります。

休養室は11階に設置され、海側エレベーターで行くと男子トイレの隣にあります。なお、この階には女子トイレはなく、女子社員にとっては極めて使いづらい休養室です。今後、この点についてもフロア移設も含めて改善要求が必要です。



（神戸中央ビル・11階にある休養室の内部）